

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51100 農業委員会運営費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業	
			項	1	農業費		施策概要	5	担い手の育成・確保	
			目	1	農業委員会費		根拠計画			
担当課	農政部 農務課	内線	2227							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 優良農地の保全と有効活用の観点から、農業委員会がより一層農地保全に資する客観的・中立的で公正な判断を行う。 農業委員会の効率的かつ透明な組織運営を行う。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会の審議・活動の「見える化」推進 農業委員会の総会の公開と、議事録の公表 日常的な「農地/パトロール」の実施 遊休農地の発生防止と解消、違反転用の防止
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
担い手への農地集積率	40.1%	40.9%	50%

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		14,586	13,947	14,466	14,466	13,904	△ 43
特定財源	国費 ()						
	県費 (農業委員会費10/10、県移譲事務交付金)	1,584	1,682	1,682	1,682	1,734	52
	その他(農業者年金業務雑入)	1,200	1,790	1,200	1,200	1,492	△ 298
一般財源		11,802	10,475	11,584	11,584	10,678	203
個票枝番	主な事業内容						
	農業委員会委員報酬(委員36名)	9,364	9,364	9,364	9,364	9,364	0
	農業委員会委員報酬(地区委員223名)	2,260	2,030	2,230	2,230	2,020	△ 10

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		-
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
20,019	21,091	21,091		6,625
6,562	5,184	5,184		3,502
1,492	1,200	1,200		0
11,965	14,707	14,707		3,123
査定額	説明			
7,146	農業委員19名			
8,991	農地利用最適化推進員45名			
2,230				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会の開催(13回) 機関紙の発行(4回) 農地が有効利用されているか、「農地利用状況調査」を実施(1回) 行政に対して「建議」を実施し、新年度事業の政策を提言した。(2回)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 建議については、4つの専門部会、役員会、農業委員会活動を通じ、国・県の施策の動向を入手し、施策提言を早期かつ効率的に行なった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会法改正後の委員改選が平成29年度に実施されることに伴い、関係条例等の整備を行う必要がある。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員会の開催(12回) 機関紙の発行(4回) 農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員定数変更及び農地利用最適化推進委員新設について農業委員会等と協議を行い、条例、規則等の整備を実施 農業委員の選出方法改正による新たな農業委員等の選出方法を知ってもらうため、支所とともに農家への説明会を実施 行政に対して「意見書」を提出し、新年度事業の政策提言を実施(2回)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員の任期満了に伴う改選は、新たな制度によって行うため、農家への制度内容の周知を図った。 農業委員会の必須業務となった農地利用最適化の推進が円滑に遂行されるよう、委員会業務内容、関係法令、制度の把握に向けた研修会を開催した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 担い手への農地集積・集約化及び遊休農地の解消・防止を図るためには、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携した活動を行う必要がある。 農業競争強化プログラムを積極的に活用し、経営の合理化・高度化に向け支援を行うため、将来の農地利用と担い手等に関する地域の合意形成を築いていく必要がある。

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> 農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 農地利用最適化推進員の設置(平成29年度より) 離農や規模縮小する農家の農地の引き受け手の掘起こしや新規就農者への農地利用促進

財務部 査定の方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定の方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51200 農業振興地域整備計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業のひとつである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	1	活気ある農業生産地づくり		
			目	2	農業総務費		根拠計画	農業振興地域整備計画、産業振興計画			
担当課	農政部 農務課	内線	2222								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 農業生産活動に必要な条件を備えた農業地域を保全・形成する。 農業災害補償法に基づき、農産物、家畜等の災害に対する共済事業を広域的に共同運営することで運営コストの削減と、農家の経営安定、生産支援、地域支援(情報の収集)、組織体制強化を行う。 各種団体との情報交換等による地域農業の振興を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興計画(農地利用計画)により、集团的優良農用地の確保に努めるとともに、農業者等地域の諸情勢の変化に対応できるように計画の変更等の管理を行う。 農業災害補償法にかかる事務を3市1村の事務組合で行う。 飛騨農業振興会、飛騨地域農業再生協議会、飛騨エアパーク協会等への加入。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
認定農業者数	546経営体	545経営体	585経営体
農業粗生産額(畜産含む、年間)	214.8億円	239.7億円	205億円
担い手への農地集積率	40.1%	40.9%	50%

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		82,744	82,589	83,637	83,637	83,274	685
特定財源	国費()						
	県費(県移譲事務交付金)	45	45	45	45	45	0
	その他()						
一般財源		82,699	82,544	83,592	83,592	83,229	685
個票枝番	主な事業内容						
	飛騨農業共済事務組合負担金	75,503	75,497	75,946	75,946	75,946	449
	農業振興地域整備促進協議会委員及び農業経営基盤強化推進会議委員謝礼	380	276	380	380	161	△ 115

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		82,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
84,062	83,979	83,979		342
30	76	76		31
84,032	83,903	83,903		311
査定額	説明			
76,735				
380				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興地域整備促進協議会及び農業経営基盤強化推進会議を各1回開催した。 各種団体の活動に積極的に参加し、地域農業の振興を図った。 局所的な災害が増加していることから、各種共済の加入を促進した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 優良な農用地を確保するために無秩序な農地の開発等を抑制していく必要がある。 園芸施設共済の引受戸数は減少傾向であったが、引受棟数とともに前年より増加していることから、担い手への集積、新規就農者の営農が進んでいると考えられる。 局所的な災害が増加していることから、今後も各種共済の加入促進に努める。 各団体は積極的に活動しているが、活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 優良農用地を守るとともに、その保全と有効活用の観点から、客観的・中立的な立場で公正な判断をし、農業振興地域の整備に関する法律に基づき適正処理を行なうことで、持続可能な農業を目指す。 災害補償等を受けられない農業者を減らすため、各種共済制度の加入を促進する。 事業効果の検証に基づき、より効果的な事業となるよう見直しを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 農業振興地域整備促進協議会及び農業経営基盤強化推進会議を各1回開催した。 各種団体の活動に積極的に参加し、地域農業の振興を図った。 局所的な災害が増加していることから、各種共済の加入を促進した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 水稲作付面積が減少傾向にある中で水稲共済引受面積も年々減少している。 園芸施設共済面積は平成27年度より857棟(26戸)増加したことから、新規就農者の育成・確保及び意欲ある担い手の大規模経営化が進んでいると考えられる。 各団体の活動目的はそれぞれ異なるものの、活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 局所的な災害が増加していることから、今後も各種共済の加入促進に努める。 各団体の活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。 各種会議等に積極的に参加し、将来を見据えた農業施策を検討する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	・農業振興地域整備計画の見直し(諸情勢の変化に対応)
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51300 営農推進対策事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業のひとつである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
	款	5	農林水産費	個別分野		5	農業							
	項	1	農業費	施策概要		1	活気ある農業生産地づくり							
	目	3	農業振興費	根拠計画		産業振興計画								
担当課	農政部	農務課	内線	2222										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中心となる農業経営体への農用地利用集積を促進し、経営規模の拡大・農業経営の安定を図るとともに、不作付地の解消を行う。 ・生産調整の確実で円滑な実施。 ・高山営農推進協議会が、各集落における現状の把握、問題点の整理、解決方法の検討、各種政策の推進及び研修を行う事で、地域農業の活性化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「人・農地プラン」に基づき、地域の中心となる農業経営体への農地集積や集約化を推進する。 ・立地条件に合った水田の有効活用を促進する。 ・農業経営体の育成及び強化を行うため講座や研修会を開催する。 ・農業改良組合や営農推進協議会などの農業者団体との連携強化を図る。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
担い手への農地集積率	40.1%	40.9%	50%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		22,726	20,983	24,330	28,073	27,277	6,294
特定財源	国費(中山間地域等担い手収益力向上支援事業費10/10)					1,577	1,577
	県費(経営所得安定対策事業費10/10等)	14,200	11,252	13,700	17,141	16,311	5,059
	その他(農地集積事業)		20	100	100		
一般財源		8,526	9,711	10,530	10,832	9,389	△ 322
個票枝番	主な事業内容						
	水稲病害虫共同防除に対する助成	2,300	1,699	2,300	2,300	1,672	△ 27
	農地集積協力者に対する助成	5,000	4,682	6,000	7,196	8,221	3,539
◎ 1	菌床しいたけ産地強化事業補助金			1,000	1,000	977	977
	飛騨の美味しいお米食味コンクール実行委員会負担金			100	100	100	100
	環境王国認定市町村連絡協議会負担金						

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		22,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
27,989	27,104	27,104	2,774	
15,540	15,200	15,200	1,500	
100	100	100	0	
12,349	11,804	11,804	1,274	
査定額	説明			
2,000				
7,000				
1,500				
1,040	米・食味分析鑑定コンクール国際大会高山プレ大会			
314				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲損害防止のための共同防除を実施した団体への助成(11団体、1,111.4ヘクタール)。 ・農地集積協力者への助成(17件、9.6ヘクタール)。 ・施設園芸就農希望者への農地貸付者に対する助成(7件、2.7ヘクタール)。 ・米の生産数量目標の達成のための助成(1団体)。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模の拡大を図った。 ・米の生産数量目標達成のため、経営所得安定対策事業の活用により飼料用米等の新規需要米への作付転換を推進し、水田の有効活用を図った。 ・水稲病害虫共同防除事業補助金により、水稲損害防止のための共同防除を促進し、稲作経営の安定生産を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「人・農地プラン」の作成・見直しを通じ、地域の農業者とともに話し合いをすすめる。 ・農地の中間的な受け皿となる農地中間管理事業を積極的に活用し、集積・集約化を推進する。 ・各組織の実施事業や運営状況を精査し、事業効果を検証する必要がある。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲損害防止のための共同防除を実施した団体への助成(12団体、1,073.3ヘクタール)。 ・農地集積協力者への助成(37件、12.9ヘクタール)。 ・施設園芸就農希望者への農地貸付者に対する助成(10件、4.2ヘクタール)。 ・菌床ブロックを共同購入した実施団体への助成(4団体、325.585ブロック)。 ・米の生産数量目標の達成のための助成(1団体)。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模の拡大を図った。 ・米の生産数量目標達成のため、経営所得安定対策事業の活用により飼料用米等の新規需要米への作付転換を推進し、水田の有効活用を図った。 ・水稲病害虫共同防除事業補助金により、水稲損害防止のための共同防除を促進し、稲作経営の安定生産を図った。 ・菌床しいたけ産地の低コスト生産体制の整備及び県産材の利用拡大を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の担い手(認定農業者)への農地利用集積を促進する。 ・「人・農地プラン」の作成・見直しを通じ、地域の農業者とともに話し合いをすすめる。 ・経営所得安定対策事業補助金や水稲病害虫共同防除事業補助金の活用により、水田の適地適品種の作付けや稲作の安定経営を図る。 ・高山市営農推進協議会活動の支援により、各地域における課題解決を推進する。

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・高山営農推進協議会の活動支援 ・経営所得安定対策事業及び農地集積事業の推進

財務部 査定の 考え方	・精算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51300 営農推進対策費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課
枝番・内容	1 菌床しいたけ産地強化事業費		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	5	農林水産費		内線
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	農業費	作成年月	H29.8	
		<input type="checkbox"/>		目		3	農業振興費			

事業の目的・概要(Plan)

目的	・菌床しいたけ産地の低コスト生産体制の整備及び県産材の利用拡大を図る。	概要	・菌床しいたけ生産団体が菌床ブロックを共同購入する場合、ブロック1個あたり3円を助成する。
----	-------------------------------------	----	---

[参考] H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	1,000
主な経費	菌床ブロックの共同購入に対する助成	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	1,000
	繰越	
	補正等	
	最終	1,000
決算額		977
対前年度増減額(決算)		977

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	1,500
主な経費	菌床ブロックの共同購入に対する助成	
	対前年度増減額(当初予算)	

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同購入した菌床ブロックに対して1個あたり3円の助成 	
<p>[スケジュール]</p> <p>27年12月～28年3月菌床ブロック納入</p>	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4団体 325,585ブロック に対して助成 <p>[評価]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菌床しいたけ生産者の低コスト生産体制の整備及び県産材の利用拡大が図れた。 	
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 共同購入した菌床ブロックに対して1個3円の助成 	
<p>[スケジュール]</p> <p>28年12月～29年3月菌床ブロック納入</p>	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51305 農業体験施設等管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	5	農林水産業費		個別分野	1	観光	
			項	1	農業費		施策概要	2	滞在型・通年型の観光地づくり	
			目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画		
担当課	農政部 農務課	内線	2225							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 都市と農村との交流増加による地域の活性化 農業体験、自然体験を通じた子供たちの健全育成 生産、収穫などの農業体験を通して、家族とのふれあいや地域の農業、農産物に対する理解を深める。 生きがいを持ち、健康的でゆとりのある生活の実現を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設を活用し、農業体験、自然体験の場を提供する(栗野野外研修施設、すのまたふるさと学校体験学習施設、彦谷の里滞在型農園施設、清見里人学校、おっぱら自然体験センター、荒城農業体験交流館)。 市民ふれあいファミリー農園を提供する(塩屋、下切)。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
新規就農者数	17人	28人	30人

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		28,640	28,152	26,540	29,540	29,178	1,026
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(指定管理事業雑入(農業施設)等)	2,267	2,068	2,259	2,259	1,516	△ 552
一般財源		26,373	26,084	24,281	27,281	27,662	1,578
個票枝番	主な事業内容						
	荒城農業体験交流館ほか5施設の管理運営(指定管理)	24,600	24,328	24,500	24,500	24,292	△ 36

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		28,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
37,507	26,600	26,600	60	
2,226	2,259	2,259	0	
35,281	24,341	24,341	60	
査定額		説明		
24,600				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 6施設の利用者数(指定管理事業のみ) 9,624人 荒城農業小学校参加児童数 76人 市民農園利用区画数 塩屋農園 50区画、下切農園 39区画
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 地元団体による安定運営をめざし、利用者が増加する取り組みをすすめながら、地元団体への譲渡を検討する必要がある。 譲渡にあたっては、補助金適正化法による制限に留意する必要がある。 農園の空き区画数が増加傾向にあるため、利用者の新たな掘起こしについて工夫していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化をめざす。 地元団体への譲渡について、補助金適正化法による制限などを調査し、検討する。 利用者が快適に利用できるよう、引き続き適正管理に努める。 広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒体により利用者を広く募集する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 6施設の利用者数(指定管理事業のみ) 9,202人 荒城農業小学校参加児童数 73人 市民農園利用区画数 塩屋農園 48区画、下切農園 40区画
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化を図った。 現地へ赴き、利用者の直の声を伺い、利用者が快適に利用できるよう、適正管理に努めた。 広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒介により利用者を広く募集する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化をめざす。 地元団体への譲渡について、補助金適正化法による制限などを調査し、検討する。 利用者が快適に利用できるよう、引き続き適正管理に努める。 広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒体により利用者を広く募集する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・人材の育成・確保に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	・施設の適正な管理

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51310 農作物獣害防止対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	4	農山村集落機能の維持・強化		
			目	3	農業振興費		根拠計画	鳥獣被害防止計画、産業振興計画			
担当課	農政部 農務課	内線	2223								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	鳥獣被害に強い地域づくり、安定した農業経営及び農作物の生産を図ることにより、農業生産意欲の向上と耕作放棄地の発生を抑制する。	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみによる鳥獣被害防止対策の推進(研修会の開催促進、鳥獣侵入防止柵等の設置支援) ・猟友会を中心に編成された有害鳥獣捕獲隊に有害鳥獣の捕獲を委託し、安全かつ適正な捕獲を実施する。 ・農家等の狩猟免許取得を促進し、捕獲技術者の確保・育成を図る。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
鳥獣による農作物被害面積(年間)	40ha	27ha	50ha

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		152,460	94,950	156,660	156,660	87,674	△ 7,276
特定財源	国費()						
	県費(鳥獣被害防止対策事業費10/10等)	57,794	37,517	68,278	68,278	47,194	9,677
	その他()						
一般財源		94,666	57,433	88,382	88,382	40,480	△ 16,953
個票枝番	主な事業内容						
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(市単独)	43,800	33,904	43,000	43,000	16,418	△ 17,486
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(国県補助)	50,000	30,829	50,000	50,000	39,481	8,652
	有害鳥獣の捕獲、捕獲技術者の育成	50,665	22,978	48,000	48,000	23,212	234
	鳥獣被害対策実施隊	6,400	5,745	6,400	6,400	6,025	280
◎ 1	ニホンジカの個体数調整捕獲	1,335	1,335	9,000	9,000	2,410	1,075

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		152,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
140,918	139,320	139,320	△ 17,340	
57,615	57,402	57,402	△ 10,876	
83,303	81,918	81,918	△ 6,464	
査定額	説明			
32,300	農作物獣害防止対策事業補助金			
40,000	鳥獣被害防止総合対策整備事業補助金			
51,000	捕獲技術者育成報奨金、有害鳥獣捕獲報償金、狩猟捕獲特別奨励金			
6,400	鳥獣被害対策実施隊員報酬			
9,000	ニホンジカの個体数捕獲事業			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・侵入防止柵の設置支援(実施箇所数: 81箇所、受益面積: 245.8ha) ・有害鳥獣捕獲隊員数 299名(免許所持者: 170名、補助者: 129名) ・捕獲技術者育成 14名 ・捕獲数量(有害) イノシシ: 494頭、サル: 112頭、ニホンジカ: 240頭、クマ: 30頭、カラス: 35羽 ・狩猟捕獲特別報奨 イノシシ: 53頭、ニホンジカ個体数調整捕獲 94頭
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみでの取り組みをすすめるとともに、事業効果の検証を行う必要がある。 ・駆除鳥獣肉の活用を促進する必要がある。 ・新射撃場の建設計画を早期にまとめる必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみの対策強化 ・捕獲鳥獣肉の有効活用 ・鳥獣被害対策実施隊の制度化促進 ・射撃場整備の促進
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・侵入防止柵の設置支援: 実施箇所数: 36箇所、受益面積: 257.5ha ・有害鳥獣捕獲隊員数 315名(免許所持者: 178名、補助者: 137名) ・捕獲技術者育成 17名 ・捕獲数量(有害) イノシシ: 648頭、サル: 114頭、ニホンジカ: 230頭、クマ: 21頭、カラス: 17羽 ・狩猟捕獲特別報奨 イノシシ: 96頭、ニホンジカ個体数調整捕獲 209頭
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策実施隊への民間隊員の加入について、次年度からの導入に目処がついた。 ・地域ぐるみでの取り組みを推進する上で、地域ぐるみの捕獲体制作りを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・捕獲を含む地域ぐるみの鳥獣被害防止対策や、鳥獣の個体数管理等を総合的に行い、被害軽減を推進する。 ・射撃場整備の促進
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・獣害防止対策の推進に関する施策の新規・拡充を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・集落ぐるみの取組の推進 ・有害捕獲の体制強化
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 考え方	・財務部査定のとおりに

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51310 農作物被害防止対策事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課	
枝番・内容	1 ニホンジカの個体数調整捕獲		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	5	農林水産業費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	農業費	内線			2223
		<input type="checkbox"/>		目		3	農業振興費	作成年月			H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・ニホンジカの個体数調整捕獲を実施することにより、増えすぎたニホンジカを適正な数に調整し、農業被害の軽減を図る。	概要	・岐阜県第二種特定鳥獣管理計画(H28.4.1～H31.3.31)に基づき実施するニホンジカの個体数調整事業(県単事業、補助率10/10)
----	--	----	---

【参考】H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	9,000
	最終	
決算額		1,335
対前年度増減額(決算)		1,335

【参考】H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	9,000
主な経費	ニホンジカ個体数調整捕獲報償金	
	ニホンジカ個体数調整捕獲参加報償金	
対前年度増減額(当初予算)		9,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	9,000
	繰越	
	補正等	
	最終	9,000
決算額		2,410
対前年度増減額(決算)		1,075

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	9,000
主な経費	ニホンジカ個体数調整捕獲報償金	
	ニホンジカ個体数調整捕獲参加報償金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業内容]	
・ニホンジカの個体数調整捕獲に対する捕獲報償金 94頭	
・ニホンジカの個体数調整捕獲への参加に対する報償金 79人	
[評価]	
・天候不順(大雪等)により計画どおりの捕獲が出来なかった。	
次年度以降の考え方(担当課)	・岐阜県第二種特定鳥獣管理計画に基づきニホンジカの個体数調整事業を実施する。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・ニホンジカの個体数調整捕獲に対する捕獲報償金 600頭	
・ニホンジカの個体数調整捕獲への参加に対する報償金 600人	
[スケジュール]	
・H28年11月～H29年3月 個体数調整捕獲実施	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
・ニホンジカの個体数調整捕獲に対する捕獲報償金 209頭	
・ニホンジカの個体数調整捕獲への参加に対する報償金 64人	
[評価]	
・天候不順(雪不足等)により計画どおりの捕獲が出来なかった。	
次年度以降の考え方(担当課)	・岐阜県第二種特定鳥獣管理計画に基づきニホンジカの個体数調整事業を実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・ニホンジカの個体数調整捕獲に対する捕獲報償金 600頭	
・ニホンジカの個体数調整捕獲への参加に対する報償金 600人	
[スケジュール]	
・H29年11月～H29年3月 個体数調整捕獲実施	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51315 農業制度資金等利子補給事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	5	担い手の育成・確保		
			目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画			
担当課	農政部 農務課	内線	2224								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業を行うために必要な資金を利用しやすくすることで、農業経営の改善を図る。	概要	・農業経営基盤強化資金などの借入資金にかかる利子を補給(助成)する。
----	--	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	214.8億円	239.7億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職人件費を除く)		3,800	3,580	2,451	2,451	2,449	△ 1,131
特定財源	国費()						
	県費(農業経営基盤強化資金利子補給金 1/2)	1,745	1,745	1,202	1,202	1,202	△ 543
	その他()						
一般財源		2,055	1,834	1,249	1,249	1,247	△ 587
個票枝番	主な事業内容						
	農業経営基盤強化資金利子補給金	3,491	3,490	2,405	2,405	2,403	△ 1,087

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		1,400
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
1,372	1,372	1,372	△ 1,079	
666	667	667	△ 535	
706	705	705	△ 544	
査定額	説明			
1,334				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・利子補給件数 135件 ・新規借入申込件数 26件
評価等	・緊急景気対策としての利子補給は、景気の動向等を踏まえて事業の必要性について検討する。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・農業を行うために必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・利子補給件数 110件 ・新規借入申込件数 16件
評価等	・緊急景気対策としての利子補給は、景気の動向等を踏まえて事業の必要性について検討する。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・農業を行うために必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・農業経営基盤強化資金の利子補給
財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51320 新規就農者等育成支援事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	5	担い手の育成・確保		
			目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画			
担当課	農政部 農務課	内線	2224								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・次代を担う新規就農者及び農業後継者等の育成・定着を図り、地域農業を持続的に発展させる。	概要	・就農希望者を対象とした実践的な就農研修支援事業の実施 ・新規就農者等の農地賃借料に対する助成 ・農業後継者団体等に対する助成及び農業後継者における海外研修に係る経費に対する助成 ・認定新規就農者等の経営を安定させるために給付金を給付
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
新規就農者数	17人	28人	30人

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		46,906	34,786	75,580	71,852	60,349	25,564
特定財源	国費()						
	県費(青年就農者支援事業費10/10、就農研修支援事業費10/10)	41,506	32,725	60,300	56,557	52,286	19,561
	その他(夢・まちづくり基金収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	1,003	705	1,003	1,003	384	△ 321
一般財源		4,397	1,356	14,277	14,292	7,680	6,324
個票枝番	主な事業内容						
	新規就農者の経営規模拡大に対する助成	800	771	800	800	558	△ 213
	就農体感ツアー、就農移住相談会ほか			695	695	602	602
	就農希望者に対する実践的な農業研修の支援	5,506	3,720	5,100	5,100	4,150	430
	45歳未満の独立・自営就農者に対する助成	26,000	19,125	55,500	51,757	41,911	22,786
◎ 1	農業後継者に対する助成(農業後継者の経営参画等に対する助成)	10,000	10,000	10,000	12,000	12,000	2,000
	農業後継者に対する助成(農業団体への活動に対する助成)	1,900	1,170	1,900	1,900	1,129	△ 41

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		71,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
79,440	78,350	78,350	2,770	
63,869	63,300	63,300	3,000	
803	2,803	2,803	1,800	
14,768	12,247	12,247	△ 2,030	
査定額	説明			
1,200	新規就農者規模拡大事業補助金			
680				
5,100	長期農業研修生を受け入れた農家への謝礼			
58,500				
10,000				
1,270				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・就農希望者の実践的就農研修の受入 9名 ・4Hクラブ、JAひだ青年部、指導農業士会等の活動に対する助成 4団体 ・農業後継者就農給付金等による後継者就農等への支援を新設 10名 ・新規就農者等への農地賃借料に対する助成 17名 ・青年就農給付金の給付等による新規就農者等への支援 21件 ・新規就農相談件数 108件
評価等	・就農希望者等が安心して農業に取り組めるよう継続的な支援やフォローアップ及び支援情報等の積極的な発信により、新規就農者等の確保及び農業への定着を図っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 ・青年就農給付金等の支援事業を積極的に活用し、新規就農者のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。 ・各種就農相談会等を活用し、高山市の支援情報を積極的に発信する。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・就農希望者の実践的就農研修の受入 10名 ・4Hクラブ、JAひだ青年部、指導農業士会等の活動に対する助成 5団体 ・農業後継者就農給付金等による後継者就農等への支援 12名 ・新規就農者等への農地賃借料に対する助成 13名 ・青年就農給付金の給付等による新規就農者等への支援 30件 ・新規就農相談件数 109件
評価等	・就農希望者等が安心して農業に取り組めるよう継続的な支援やフォローアップ及び支援情報等の積極的な発信により、新規就農者等の確保及び農業への定着を図っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定 ・青年就農給付金等の支援事業を積極的に活用し、新規就農者のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。 ・各種就農相談会等を活用し、高山市の支援情報を積極的に発信する。

施策の実施方針	・人材の育成・確保に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課予算要求ポイント	・新規就農者等がより安定的な経営体へと発展し、農業への定着を図るために必要な経費を計上 ・地域農業の活性化を図るために必要な農業後継者団体等の活動及び研修に必要な経費を計上
財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51320 新規就農者等育成支援事業	区分	<input type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課
枝番・内容	1 農業後継者等就農給付金		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	5	農林水産業費		
		<input checked="" type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	農業費	内線	2224	
		<input type="checkbox"/>		目		3	農業振興費	作成年月	H29.8	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・次代を担う農業後継者等の育成・定着を図り、地域農業を持続的に発展させる。	概要	・農業後継者等の経営を安定させるために給付金を給付
----	---------------------------------------	----	---------------------------

【参考】H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	10,000
	補正等	
	最終	
決算額		10,000
対前年度増減額(決算)		10,000

【参考】H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	10,000
主な経費	農業後継者等就農給付金	10,000
対前年度増減額(当初予算)		10,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	10,000
	繰越	0
	補正等	2,000
	最終	12,000
決算額		12,000
対前年度増減額(決算)		2,000

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	10,000
主な経費	農業後継者等就農給付金	10,000
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
【事業実績】	・農業後継者等就農給付金による後継者就農等への支援を新設 10名
【評価】	・農業後継者等就農給付金等の支援事業を積極的に活用し、また、農業後継者等のフォローアップを図ることにより農業への定着を図った。 ・各種就農相談会等を活用し、高山市の支援情報を積極的に発信した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者等就農給付金等の支援事業を積極的に活用し、農業後継者等のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。 ・各種就農相談会等を活用し、高山市の支援情報を積極的に発信する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
【事業内容】	・農業後継者等就農給付金による後継者就農等への支援
【スケジュール】	

事業実績・評価等	
【事業実績】	・農業後継者等就農給付金による後継者就農等への支援 12名
【評価】	・農業後継者等就農給付金等の支援事業を積極的に活用し、また、農業後継者等のフォローアップを図ることにより農業への定着を図った。 ・各種就農相談会等を活用し、高山市の支援情報を積極的に発信した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者等就農給付金等の支援事業を積極的に活用し、農業後継者等のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。 ・各種就農相談会等を活用し、高山市の支援情報を積極的に発信する。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
【事業内容】	・経営リスクがある農業後継者等への助成
【スケジュール】	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51325 地域特産物振興助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。
			款	5	農林水産費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり		
			目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画			
担当課	農政部 農務課	内線	2225								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>・地域の特色ある産地産品づくりを推進するため、特色ある農産物の掘り起しを行い、それらの生産者組織を支援することにより、地域特産物の生産拡大、高品質化、新商品開発等を促進し、地域の活性化を図る。</p>	概要	<p>・各段階に応じた下記の取組みに要する経費に対し補助金を交付 【ステップ1 発掘】 地域の特色を活かして取り組もうとする新たな農産物の選定、栽培技術の確立及び生産販売体系の構築等 【ステップ2 育成】 地域の特色を活かした農産物の生産拡大や高品質化 【ステップ3 振興】 地域の特色を活かした農産物を利用した新商品開発や販売促進活動</p>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	214.8億円	239.7億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		3,000	824	3,000	3,000	407	△ 417
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		3,000	824	3,000	3,000	407	△ 417
個票枝番	主な事業内容						
	地域特産物発掘(新たな農産物の選定、栽培技術・販売体系の確立への助成)	1,000		1,000	1,000		
	地域特産物育成(生産拡大や高品質化への助成)	1,000	634	1,000	1,000	61	△ 573
	地域特産物振興(新商品開発や販売促進活動への助成)	1,000	190	1,000	1,000	346	156

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
3,000	3,000	3,000	0	
3,000	3,000	3,000	0	
査定額	説明			
1,000				
1,000				
1,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ2 飛騨高山おいしいお米プロジェクト(米、3年目) ・ステップ2 吉城蔬菜出荷組合春菊部会(春菊、1年目) ・ステップ2 高山市営農推進協議会(飛騨ねぎ・にんにく、3年目) ・ステップ3 飛騨高山宮川朝市協同組合(伝統野菜、4年目)
評価等	<p>・JAや各研究会と協力して実施するとともに、生産量・販売量・加工研究等の検証を行い、事業の効果をあげるように取り組む必要がある。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・事業効果の検証を行うとともに、安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりにつなげていく。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ステップ3 飛騨高山おいしいお米プロジェクト(米、4年目) ・ステップ2 吉城蔬菜出荷組合春菊部会(春菊、2年目) ・ステップ2 飛騨高山宮川朝市協同組合(山菜、1年目)
評価等	<p>・JAや各研究会と協力して実施するとともに、生産量・販売量・加工研究等の検証を行い、事業の効果をあげるように取り組む必要がある。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・事業効果の検証を行うとともに、安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりにつなげていく。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること ・飛騨高山ブランド戦略の推進に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色ある産地産品づくりの推進
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・要求どおり
市長査定 考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51330 6次産業化支援事業費	予算	会計	1 一般会計	総合計画	基本分野	1 産業・労働	市長公約	・海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。
			款	5 農林水産業費		個別分野	5 農業		
			項	1 農業費		施策概要	2 ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり		
			目	3 農業振興費		根拠計画	産業振興計画		
担当課	農政部 農務課	内線	2223						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業者による6次産業化を支援することで付加価値の高い産地産品づくりを促進し、農産物のブランド化、農業者の持続的かつ健全な発展及び地域の活性化を図る。	概要	・農業者が新たに加工・流通・販売に取組む場合に必要施設、機械、器具類の整備費等に対して助成する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	214.8億円	239.7億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	増減(b)-(a)
		14,000	971	4,000	4,000	△ 8
特定財源	国費()					
	県費(6次産業化支援事業費 10/10)	14,000	971	4,000	4,000	△ 8
	その他()					
一般財源		0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容					
	6次産業化(生産・加工・販売)に対する助成	14,000	971	4,000	4,000	△ 8

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		12,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
3,000	4,000	4,000	0	
3,000	4,000	4,000	0	
0	0	0	0	
査定額	説明			
4,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・事業者に対し補助金を交付(2件) ・6次産業化法に基づく事業計画認定者総数 17団体
評価等	・6次産業化の取り組みを支援することで、農業者の持続的かつ健全な発展が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・事業効果の検証を実施するとともに、引き続き推進していく。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・事業者に対し補助金を交付(2件) ・6次産業化法に基づく事業計画認定者総数 19団体
評価等	・国・県と連携し新たな6次産業化への取組みについて支援した。 ・継続した販路開拓や品質等改善の支援が必要
次年度以降の考え方(担当課)	・事業効果の検証を実施するとともに、引き続き推進していく。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること ・飛騨高山ブランド戦略の推進に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課予算要求ポイント	・6次産業化の取組への支援による付加価値の高い産地産品づくりの促進

財務部査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51335 農業施設等整備費助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総 計 画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	2	ブランド力のある安全・安心な産地産品づくり		
			目	3	農業振興費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課	内線	2224								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・化学合成農薬や化学肥料の使用削減を図るぎふクリーン農業を基本に、品質向上や生産性の向上、環境保全効果の高い営農方法の導入等により、消費者に信頼される安全・安心で競争力のある売れる農産物づくりを推進する。 ・新規就農者や意欲ある経営体等の育成・確保を図り、地域農業の持続的な発展に寄与する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心・健康でブランド力のある売れる農産物づくりを推進するため必要となる機械・施設等の導入経費に対して助成 ・意欲ある多様な経営体が自ら計画する経営改善目標の達成に向け必要な農業用機械、施設等に直接支援することにより、農業経営体の経営の拡大や改善を図る。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	214.8億円	239.7億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		83,300	64,191	58,100	58,100	49,788	△ 14,403
特定財源	国費()						
	県費(農業総合整備事業費1/4、経営体育成支援事業費3/10 等)	38,130	38,130	38,100	38,100	34,189	△ 3,941
	その他()						
一般財源		45,170	26,061	20,000	20,000	15,599	△ 10,462
個票枝番	主な事業内容						
	農業用機械・施設の導入に対する助成	50,000	44,926	50,000	50,000	38,788	△ 6,138
	融資を活用した農業用機械の導入に対する助成	6,300	5,107	8,100	8,100	0	△ 5,107

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		56,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
83,263	83,200	83,200	25,100	
61,038	60,200	60,200	22,100	
22,225	23,000	23,000	3,000	
査定額	説明			
58,000				
25,200				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・農業総合整備事業(雨よけハウス、予冷库、高所作業車、コンバイン等) 8団体 ・経営体育成支援事業(トラクター、スピードスプレーヤー) 4経営体
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を推進する際に、作目により採択要件が満たされず、要望に応えられない事例があった。 ・事業の早期着工について、引き続き事業実施主体、県等と連携し速やかな事業実施を推進していく必要がある。 ・成果目標と事業費比率のポイント制で採択されるため、事業採択のためには高い成果目標の設定と事業費の低減が必要であることを農業者に理解を求めなければならない。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の採択要件の緩和について、引き続き県へ要望していく。 ・事業実施主体や県等と連携し、速やかな事業の実施を推進していく。 ・市のホームページ等で事業内容のPRや要望量を把握し、新規就農支援者相談や各種会議・会合等で事業推進に努める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・農業総合整備事業(雨よけハウス、予冷库、高所作業車、マニアスプレッダ等) 8団体 ・担い手確保・経営強化支援事業(コンバイン) 2経営体
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の早期着工について、引き続き事業実施主体、県等と連携し速やかな事業実施を推進していく必要がある。 ・成果目標と事業費比率のポイント制で採択されるため、事業採択のためには高い成果目標の設定と事業費の低減が必要であることを農業者に理解を求めなければならない。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の採択要件の緩和について、引き続き県へ要望していく。 ・事業実施主体や県等と連携し、速やかな事業の実施を推進していく。 ・市のホームページ等で事業内容のPRや要望量を把握し、新規就農支援者相談や各種会議・会合等で事業推進に努める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること ・飛騨高山ブランド戦略の推進に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ぎふクリーン農業を基本とした機械・施設等の導入支援による安全・安心で競争力のある農産物づくりの推進 ・農業用機械・施設等の導入経費に対する助成

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51336 集出荷施設等整備費助成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	1	活気ある農業生産地づくり		
			目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画			
担当課	農政部 農務課	内線	2222								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	概要
・増加する丹生川地区のトマト出荷量に対応し、収穫時の選別作業の省力化による生産者の負担軽減を図り、作付面積の拡大及び栽培管理の徹底による出荷量の増加や品質向上を目指す。	・丹生川トマト選果場(既存施設)の隣接地に新選果場を建設し、新たに選果機を導入するとともに、既存施設を改修し、一体的に利用する。

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	214.8億円	239.7億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
				712,800	712,800	656,363	656,363
特定財源	国費 ()						
	県費 (産地競争力強化対策事業費1/2)			648,000	648,000	596,694	596,694
	その他()						
一般財源				64,800	64,800	59,669	59,669
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	トマト集出荷施設の整備に対する助成			712,800	712,800	656,363	656,363

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		0
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
査定額	説明			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新設建物 鉄骨造2階建て 延床面積3,803.10㎡ ・既存建物改修 鉄骨造一部2階建て 延床面積3350.75㎡ ・トマト選果機 コンベア方式 2条3系列、予冷設備一式 ・トマトの販売額(市全域) 33.4億円
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・農畜産物の高品質・高付加価値化、低コスト化及び食品流通の合理化等、地域における生産から流通・消費までの対策を総合的に推進した(ABC品同時選果による農家の労力軽減、栽培管理の徹底による品質向上、パート不足の解消など)。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・生産団体や関係機関等との協議の中で必要に応じて実施する。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	
財務部 査定の考え方	
市長査定の考え方	

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51336 集出荷施設等整備費助成事業費	区分	<input checked="" type="checkbox"/> H28新規	<input type="checkbox"/> H29新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課	
枝番・内容	1 産地競争力強化対策事業		<input type="checkbox"/> H28拡充	<input type="checkbox"/> H29拡充		款	5	農林水産業費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	農業費	内線			2222
		<input type="checkbox"/>		目		3	農業振興費	作成年月			H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・増加する丹生川地区のトマト出荷量に対応し、収穫時の選別作業の省力化による生産者の負担軽減を図り、作付面積の拡大及び栽培管理の徹底による出荷量の増加や品質向上を目指す。	概要	・丹生川トマト選果場(既存施設)の隣接地に新選果場を建設し、新たに選果機を導入するとともに、既存施設を改修し、一体的に利用する。
----	--	----	--

[参考] H27決算(Do-Check) H28.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H28当初予算(Action) H28.3時点 (千円)

予算額	当初	712,800	
主な経費	JAひだ丹生川トマト選果場の整備に対する助成		
	対前年度増減額(当初予算)		712,800

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	712,800
	繰越	0
	補正等	0
	最終	712,800
決算額		656,363
対前年度増減額(決算)		656,363

H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初		
主な経費			
	対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名 産地競争力強化対策事業(JAひだ丹生川トマト選果場整備) ・事業主体 飛騨農業協同組合 ・建設場所 高山市丹生川町坊方地内 ・施設概要 新設建物 鉄骨造2階建て 延床面積3,703.10㎡ 既存建物 鉄骨造一部2階建て 延床面積3,350.75㎡ 選果機 2条1系列台流型選果機4台、予冷設備一式 	
<p>[スケジュール]</p> <p>工事期間 平成28年度(1カ年) 平成29年度稼働</p>	

事業実績・評価等	
<p>[事業実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業名 産地パワーアップ事業(JAひだ丹生川トマト選果場整備) ・事業主体 飛騨農業協同組合 ・建設場所 高山市丹生川町坊方地内 ・施設概要 新設建物 鉄骨造2階建て 延床面積3,803.10㎡ 既存建物改修 鉄骨造一部2階建て 延床面積3,350.75㎡ 選果機 コンベア方式 2条3系列 予冷設備一式 <p>[評価]</p> <p>・農畜産物の高品質・高付加価値化、低コスト化及び食品流通の合理化等、地域における生産から流通・消費までの対策を総合的に支援したことで丹生川地域のトマト産地の更なる飛躍が期待できる(ABC品同時選果による農家の労力軽減、栽培管理の徹底による品質向上、パート不足の解消など)。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の施設等の整備については、生産団体や関係機関等との協議の中で必要に応じて実施する。 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[スケジュール]	

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51340 地産地消推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・地産地消が体験できる拠点空間(施設)の整備に努めます。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	3	販路の拡大と流通の効率化		
			目	3	農業振興費		根拠計画	産業振興計画			
担当課	農政部 農務課	内線	2223								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生産されたものを地域で消費する。 ・生産者の顔がみえ、新鮮で安全・安心な農畜産物が供給される。 ・地域の農業と関連産業の活性化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消に取り組む事業者の情報発信や消費者と生産者の連携を強化し、地産地消を推進する。 ・市内の小中学校等大量調理施設において、地域農産物の利用促進を行う。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	214.8億円	239.7億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,509	2,835	3,000	3,000	2,103	△ 732
特定財源	国費()						
	県費(学校給食地産地消事業費 1/3)	1,000	794	1,000	1,000	807	13
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)						
一般財源		2,509	2,041	2,000	2,000	1,296	△ 745
個票枝番	主な事業内容						
	生産者と食品関連事業者とのマッチングイベント等	1,509	1,246	1,000	1,000	489	△ 757
	学校給食での県内産米、小麦粉、野菜等の利用促進	2,000	1,589	2,000	2,000	1,614	25
	「まるごと飛騨の日」の開催(学校給食での地元食材を使った特別献立の提供)						

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
5,540	11,400	11,400		8,400
1,000	1,000	1,000		0
0	2,600	2,600		2,600
4,540	7,800	7,800		5,800
査定額	説明			
1,000				
4,400				
6,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消推進会議を開催し、推進事業等について協議 ・各種事業の実施(100年ごはん上映会(1回)、料理教室の開催(3回)、飛騨をまるごと食べんかな月間における啓発事業の実施、手作り弁当の募集、見本市の開催(1回)、フェイスブック・ヒットネットTV等での情報発信) ・学校給食地産地消推進事業補助金を活用した、小中学校の学校給食における地元産・県産農産物の積極的な活用の推進 ・学校給食における地元農産物の利用量 142トン ・学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率 64% ・公設地方卸売市場の取扱量に占める飛騨産食材の比率 11.6% ・地産地消の取組を発信する店舗・団体数 250件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施により、農業者・商工業者・消費者等がコミュニケーションを図ることで、地域産業の活性化につながっている。 ・地域農産物等の認知度向上及び利用促進に向けた取組を、地産地消推進会議と連携し、更に強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特産物の利用拡大を推進していく中で、地域の農業と関連産業を結び付ける事業を展開する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消推進会議を4回開催し、推進事業等について協議 ・各種事業の実施(料理教室の開催(3回)、飛騨をまるごと食べんかな月間における啓発事業の実施、手作り弁当の募集、見本市の開催(1回)、フェイスブック・ヒットネットTV等での情報発信) ・学校給食地産地消推進事業補助金を活用した、小中学校の学校給食における地元産・県産農産物の積極的な活用の推進 ・学校給食における地元農産物の利用量 139トン ・学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率 64% ・公設地方卸売市場の取扱量に占める飛騨産食材の比率 11.6% ・地産地消の取組を発信する店舗・団体数 255件
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施により、農業者・商工業者・消費者等がコミュニケーションを図ることで、地域産業の活性化につながっている。 ・地域農産物等の認知度向上及び利用促進に向けた取組を、地産地消推進会議と連携し、更に強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域特産物の利用拡大を推進していく中で、地域の農業と関連産業を結び付ける事業を展開する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・飛騨高山ブランド戦略の推進に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	・市民参画による地産地消の推進や学校給食における地元農産物の利用促進
財務部 査定の考え方	・学校給食の地産地消の推進に要する経費を計上
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51350 環境保全型農業推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	1	活気ある農業生産地づくり		
			目	3	農業振興費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課	内線	2225								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・廃ビニールの適正処理、農業の安全使用の徹底など地域環境の保全を図る。 ・地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い、国が定める特定の営農活動を支援し、環境保全型農業を推進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市の農業と環境を守る協議会と、JA等関係団体と協調し、廃ビニールの処理にかかる費用を助成する。 ・国、県と協調し、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う経営体に対して交付金による直接支援を行う
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	214.8億円	239.7億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		2,200	1,397	2,500	2,500	1,704	307
特定財源	国費()						
	県費(環境保全型農業支援事業費3/4)	900	540	1,350	1,350	807	267
	その他()						
一般財源		1,300	857	1,150	1,150	897	40
個票枝番	主な事業内容						
	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対する助成	1,200	720	1,800	1,800	1,091	371
	使用済農業用資材の適正処理に対する助成	1,000	677	700	700	613	△ 64

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		2,200
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
2,800	2,700	2,700	200	
1,574	1,500	1,500	150	
1,226	1,200	1,200	50	
査定額	説明			
700				
2,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、農業用廃ビニールの回収と処理にかかる費用を助成した。(フレコンバック677袋) ・国・県と連携し、環境保全型農業に取り組む経営体に対して交付金による直接支援を行った。(交付金面積900a)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・農業団体や関係機関とともに、農業用廃ビニールの適正処理や環境保全型農業への取組を支援したことにより、地球温暖化防止や生物多様性保全を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した営農活動を推進する。 ・環境保全型農業に取り組む農業者の事例をPRし、さらなる推進を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、農業用廃ビニールの回収と処理にかかる費用を助成した。(フレコンバック613袋) ・国・県と連携し、環境保全型農業に取り組む経営体に対して交付金による直接支援を行った。(交付金面積1,685a)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・農業団体や関係機関とともに、農業用廃ビニールの適正処理や環境保全型農業への取組を支援したことにより、地球温暖化防止や生物多様性保全を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した営農活動を推進する。 ・環境保全型農業に取り組む農業者の環境への効果、活動のPRを支援しながら、さらなる推進を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	・環境保全型の営農活動の促進

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51355 中山間地域等直接支払事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	1	農業費		施策概要	4	農山村集落機能の維持・強化		
			目	3	農業振興費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課	内線	2229								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・耕作放棄地の増加等により水源かん養機能、洪水防止機能等の多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保する。	概要	・中山間地域等の農業生産条件が不利な地域において、5年以上農業を続けることを約束した農業者等に対して支援する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	214.8億円	239.7億円	205億円
担い手への農地集積率	40.1%	40.9%	50%

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		182,340	173,233	175,300	175,300	173,364	131
特定財源	国費()						
	県費(中山間地域等直接支払事業費 2/3、3/4、10/10)	137,350	129,545	131,100	131,100	129,470	△ 75
	その他()						
一般財源		44,990	43,688	44,200	44,200	43,894	206
個票枝番	主な事業内容						
	中山間地域等直接支払事業に対する助成	180,651	172,533	174,600	174,600	173,109	576

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		183,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
174,152	174,200	174,200		△ 1,100
130,107	130,150	130,150		△ 950
44,045	44,050	44,050		△ 150
査定額	説明			
174,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・協定締結集落数 92集落 ・事業参加面積 1,260ha
評価等	・農業生産活動の重要性について広報等で幅広く周知し、組織拡大に向け引き続き事業を実施していく。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・協定締結集落数 93集落 ・事業参加面積 1,263ha
評価等	・当該事業の採択条件に「5年以上農業を続けること」という条件があるため、農業の継続を検討している農業者が参加しない場合がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	・条件不利地での営農活動の維持、農地の生産基盤の確保

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51360 耕作放棄地対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計	基本分野	1	産業・労働	市長公約
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業	
			項	1	農業費		施策概要	1	活気のある農業再産地づくり	
			目	3	農業振興費		根拠計画			
担当課	農政部 農務課	内線	2227							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地を解消することで、農産物の生産供給のほか、農地による洪水防止など多面的機能を向上させ、農村環境や自然環境を維持する。 地域の団体や企業が、耕作放棄地対策に取り組むことで、地域の振興と住民同士の連携体制を強化する。 	概要	耕作放棄地を解消しようとする団体や認定農業者による、農地を再生するための活動に対して支援する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
担い手への農地集積率	40.1%	40.9%	50%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		10,000	2,975	10,000	10,000	612	△ 2,363
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他()						
一般財源		10,000	2,975	10,000	10,000	612	△ 2,363
個票枝番	主な事業内容						
	耕作放棄地再生利用事業に対する助成	10,000	2,975	10,000	10,000	612	△ 2,363

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
5,000	5,000	5,000	△ 5,000	
5,000	5,000	5,000	△ 5,000	
査定額	説明			
5,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	高山地域の6団体などが0.9haの再生事業を実施し、露地野菜などを作付した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 事業費ベースで、H24 44%、H25 49%、H26 12%、H27 30%と低調であることから、事業推進のためのPRが必要である。 中山間地域等直接支払などの活用により農地保全および、農地所有者への意識改革(農地有効利用)などを行う必要がある。 耕作放棄地全体調査結果 H20: 174ha、⇒H27: 109haとなっている。実質解消面積は103haであるが新規の発生面積は7haである。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員や改良組合長を通じ、積極的に支援制度の活用をPRし、実践に結び付ける。 8月～11月の農地パトロールを踏まえ、耕作放棄地所有者に意向調査を行い、農地の貸し借りを促進させる。 「人・農地プラン」の話し合いの場で解消事例などを提示し、地域全体の課題として認識してもらい、解消にむけた取り組みへの参加を促進させる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・奥飛騨温泉郷地域の1団体が0.3haの再生事業を実施、ソバを作付した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 事業費ベースで、H24・25が40%代、H26 12%、H27 30%となったが、H28は6%と低調であることから、農家への制度説明をより進める必要がある。 規模縮小希望農家から担い手農家への農地集積を図るため、農地利用最適化の推進に向けた活動を積極的に進める必要がある。 耕作放棄地全体調査結果 H20: 174ha、⇒H28: 105haと緩やかに減少している。実質解消面積は110haで、新規発生面積は7haである。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域農業者と併に農地利用の最適化の推進に向けた活動を行うため、「人・農地プラン」の見直しに向けた話し合いの場へ積極的な参加を促す。 新たに設置される農地利用最適化推進委員と農業委員が連携し、担当地域の担い手農家、農業法人、地縁団体へ制度活用に向けた相談活動により、耕作放棄地解消・防止に結び付ける。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課予算要求ポイント	・荒廃農地を再生・営農開始する団体や企業等への支援
財務部査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	54100 農業土木施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	4	農業土木費		施策概要	1	活気ある農業生産地づくり		
			目	1	農業土木総務費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課	内線	2229								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・用排水路等の農業用施設の機能維持、機能回復または機能改良 ・豪雨時においてダムによる洪水調整を行い、下流域における市民の安全を確保し、生活施設、農業生産施設、農作物等の被害を防止する。 	概要	・用排水路等の農業用施設の修繕・改修整備、防災ダムの保守点検
----	--	----	--------------------------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	214.8億円	239.7億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		70,284	69,627	55,116	115,712	115,256	45,629
特定財源	国費()						
	県費(県移譲事務交付金)	30	50	30	30	30	△ 20
	その他(農業用施設改良事業費(市単事業)17.5/100、35/100等)	5,600	7,112	4,191	9,821	7,411	299
一般財源		64,654	62,465	50,895	105,861	107,815	45,350
個票枝番	主な事業内容						
	防災ダムの維持管理	1,018	767	1,015	1,015	790	23
	農業用施設工事(用水路等工事 分担金あり)	30,000	31,231	15,000	15,000	36,465	5,234
	農業用施設工事(排水路等工事 分担金なし)	29,174	27,507	31,000	89,000	67,480	39,973
	農業用施設修繕用原材料支給	5,000	4,851	5,000	5,000	4,950	99

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		39,200
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
42,612	39,527	39,527	△ 15,589	
30	30	30	0	
4,071	3,903	3,903	△ 288	
38,511	35,594	35,594	△ 15,301	
査定額	説明			
1,015				
15,000				
15,000				
5,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・宮川、久々野防災ダム 施設維持管理(支障木除去、法面草刈り) ・農業用施設工事(用水路等工事 分担金あり) 36件 ・農業用施設修繕工事(排水路等工事 分担金なし) 34件 ・広域営農団地農道清掃 ・農業用施設修繕用原材料の支給
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ダムについては適正に施設点検・維持管理を行った。 ・市内の用排水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数を経過した施設が多く、農業用施設の修繕等に係るニーズは高く、毎年度、多くの要望が寄せられている。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ダムはこれまでどおり施設点検や維持管理を行う。 ・農業用施設の維持管理において必要な事業であるため、次年度も引き続き事業を継続する。 ・農業用施設の維持、長寿命化を図るために、町内会、改良組合、農業用施設管理団体等との更なる調整が必要である。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・宮川、久々野防災ダム 施設維持管理(支障木除去、法面草刈り) ・農業用施設工事(用水路等工事 分担金あり) 39件 ・農業用施設修繕工事(排水路等工事 分担金なし) 47件 ・広域営農団地農道清掃 ・農業用施設修繕用原材料の支給
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ダムについては適正に施設点検・維持管理を行った。 ・地域からの農業用施設修繕の要望に対し、老朽化した施設の修繕を行い長寿命化を図ることができた。 ・市内の用排水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数を経過した施設が多く、農業用施設の修繕等に係るニーズは高くなっているため、町内等と調整が必要。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災ダムはこれまでどおり施設点検や維持管理を行う。 ・防災ダム施設の適正な状態を保つために、定期的な保守点検・施設修繕・部品交換などを計画的に実施する。 ・農業用施設の維持、長寿命化を図るために、町内会、改良組合、農業用施設管理団体等との更なる調整が必要である。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・農地・農業用施設の改修等による施設の機能保全や長寿命化 ・施設の適正な維持管理による豪雨災害の防止
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・用水路・排水路工事改修については、実施計画どおり実施
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	54120 農村環境多面的機能向上事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	4	農業土木費		施策概要	4	農山村集落機能の維持・強化		
			目	1	農業土木総務費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課	内線	2229								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・脆弱化しつつある地域共同活動を再構築し、農業用施設の保全(長寿命化)をするとともに、農村環境の保全など、地域農業の発展と農山村地域の活性化を図る。	概要	・各地域の活動組織と市との間で締結した「農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上に対する協定」に基づく取り組みに対し支援する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	214.8億円	239.7億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27		H28			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		242,095	242,094	247,420	246,494	246,493	4,399
特定財源	国費()						
	県費(農村環境多面的機能向上事業費 3/4、10/10)	181,601	181,600	185,595	185,595	184,920	3,320
	その他()						
一般財源		60,494	60,494	61,825	60,899	61,573	1,079
個票枝番	主な事業内容						
	多面的機能支払事業補助金	241,975	241,975	247,300	246,374	246,374	4,399

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		243,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
225,927	225,920	225,920	△ 21,500	
169,479	169,470	169,470	△ 16,125	
56,448	56,450	56,450	△ 5,375	
査定額	説明			
225,800				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援 ・70組織 3, 018ha
評価等	・各地域の農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上を図るために必要な事業であり、引き続き事業を実施していく。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援 ・71組織 3, 154ha
評価等	・新たな取組活動等の拡大を図るため、地域に対し啓発を行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	・農地等有する多面的機能の維持・発揮のための活動に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	54200 県営土地改良事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	4	農業土木費		施策概要	1	活気ある農業生産地づくり		
			目	2	土地改良費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課	内線	2229								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産基盤である農地と野菜集出荷施設、カントリーエレベーター等の近代化施設を農道で結び移動時間の短縮を図る。 ・農業基盤である農地農道・用排水路等の整備を行い、農業経営の安定を図る。 ・高山市地球温暖化対策地域推進計画に基づき、温暖化対策として小水力発電など、地域全体への新エネルギーの積極的な活用を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県が事業主体となって農地農道・用排水路等の整備を行う。 ・広域農道(岩井町から久々野町長湊まで)を新設する。 ・市と地元受益者は、整備にかかる事業費の一部を負担する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	214.8億円	239.7億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		44,867	28,214	95,310	93,640	60,529	32,315
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(土地改良事業費5/100、8.75/100、11.25/100等)	8,350	6,444	27,200	18,438	20,167	13,723
一般財源		36,517	21,770	68,110	75,202	40,362	18,592
個票枝番	主な事業内容						
	広域営農団地農道整備	15,250	13,200	39,000	37,330	22,557	9,357
	県営農村環境整備事業 小水力発電型(荘川中央用水)	0	0	350	350	225	225
	県営中山間地域総合整備	22,917	9,684	39,000	39,000	20,300	10,616
	県営かんがい排水整備	6,700	5,331	16,960	16,960	16,749	11,418

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		96,500
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)	
132,590	120,275	120,275	24,965	
42,240	37,840	37,840	10,640	
90,350	82,435	82,435	14,325	
査定額	説明			
30,225				
17,750				
45,000				
27,300				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・広域営農団地農道整備事業 用地補償、委託料、橋梁工事費 ・県営中山間地域総合整備事業 ・南高山地区 用水路 用地補償、工事、農業集落道整備 文化財発掘調査委託 ・東高山地区 測量設計業務 ・荘川清見地区 測量設計業務 ・県営かんがい排水整備事業 ・上野平用水地区 用水路工事、測量設計業務 ・宮川右岸用水地区 測量設計業務
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後実施される事業の精査を十分に行う必要がある。 ・小水力発電事業を実施することにより、用水管理が適切に実施されるよう事業費と売電収入の長期的な収支を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き県と調整を行い、事業推進を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・広域営農団地農道整備事業 道路工、橋梁工 ・県営農村環境整備事業 小水力発電整備型 施設設計業務 ・県営中山間地域総合整備事業 ・南高山地区 用水路工事、用地補償、農業集落道整備 ・東高山地区 測量設計業務 防火水槽工事 ・荘川清見地区 測量設計業務 ・県営かんがい排水整備事業 ・上野平用水地区 用水路工事、測量設計業務、立木補償、水管橋耐震補強・塗装工事 ・宮川右岸用水地区 頭首工改修工事 ・四ヶ村用水地区 測量設計業務
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後実施される事業の精査を十分に行う必要がある。 ・小水力発電事業を実施することにより、用水管理が適切に実施されるよう事業費と売電収入の長期的な収支を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・県との調整を密接に行い、事業費の把握に努めると共に市と地元負担額の確保を図る。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	・県の事業計画に基づく事業費負担

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	54210 土地改良事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	5	農業		
			項	4	農業土木費		施策概要	1	活気ある農業生産地づくり		
			目	2	土地改良費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課	内線	2229								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良施設の機能保持と長寿命化を図る。 ・小規模農家の多い中で、土地改良事業に伴う負担金を助成することにより、農家の経費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良事業を実施した地区において、その施設の長寿命化等を図る取り組みに対して支援する。 ・土地改良事業に係る自己負担金の補助(高根地域)
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	214.8億円	239.7億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		21,659	21,132	20,565	20,565	20,308	△ 824
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(土地改良施設維持管理適正化事業雑入、土地改良事業費)	13,175	13,087	11,588	11,588	11,546	△ 1,541
一般財源		8,484	8,045	8,977	8,977	8,762	717
個票枝番	主な事業内容						
	土地改良施設維持管理適正化工事	14,000	13,500	12,000	12,000	11,766	△ 1,734
	農業用施設設備事業費補助金(債務負担)	4,217	4,217	4,066	4,066	4,065	△ 152

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		17,800
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
22,329	22,329	22,329	1,764	
13,175	13,175	13,175	1,587	
9,154	9,154	9,154	177	
査定額	説明			
14,000				
3,538				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中切沈砂池浚渫工事 ・山口第1揚水機場ポンプ整備補修工事 ・滝揚水機場ポンプ整備補修工事 ・農業用施設整備事業費負担金(債務負担)支払 8件 ・農業用施設整備事業補助金(債務負担)支払 (高根地域)
評価等	・適正化事業は、今後実施する事業の精査を十分に行う必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・適正化事業は県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。 ・債務負担金の終了する平成30年度までは事業を継続する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H28完了
- H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・松本揚水機場ポンプ整備補修工事 ・丹生川荒神洞揚水機場ポンプ整備補修工事 ・農業用施設整備事業費負担金、(債務負担)支払 10件 ・農業用施設整備事業補助金(債務負担)支払 (高根地域)
評価等	・土地改良施設維持管理適正化事業採択拡大のため、県費拡充の働きかけを行うことが必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・適正化事業は県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。 ・債務負担金の終了するまでは事業を継続する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H29完了
- H30完了予定

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	・土地改良施設の機能低下の防止や機能回復に必要な経費を計上
財務部 査定の考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	11100 地方卸売市場施設管理費	予算	会計	7	地方卸売市場事業特別会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・地産地消が体験できる拠点空間(施設)の整備に努めます。
			款	1	総務費		個別分野	5	農業		
			項	1	総務管理費		施策概要	3	販路の拡大と流通の効率化		
			目	1	一般管理費		根拠計画				
担当課	農政部 農務課	内線	2222								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・生鮮食料品の安定供給 ・生鮮食料品の取引の適正化、流通の円滑化 	概要	・卸売市場の管理運営
----	---	----	------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	214.8億円	239.7億円	205億円

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		30,800	29,296	31,000	31,000	28,766	△ 530
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(せり場売上高使用料他)	30,800	29,296	31,000	31,000	28,766	△ 530
一般財源		0	0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	指定管理委託料	24,860	24,526	24,860	24,860	24,808	282
	市場整備基金積立金	4,400	4,000	3,300	3,300	3,300	△ 700

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		30,800
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
28,353	30,600	30,600		△ 400
28,353	30,600	30,600		△ 400
0	0	0		0
査定額	説明			
24,860				
3,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市場運営協議会にて市場における売買取引に関する事項を調査審議した。 ・市場のあり方について関係者と随時検討した。 ・市場施設の損傷箇所を修繕し、生鮮食料品の品質保持管理に努めた。 ・公設卸売市場の年間総取扱数量 14,539トン
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売業者の経営改善に向けた指導及び支援を実施するとともに、隣接する卸商業センターを含めた卸売市場の将来構想を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売市場の今後のあり方を早期に検討する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H28完了
- H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市民等への生鮮食料品の安定供給及び品質保持管理に努めた。 ・市場運営協議会にて市場における売買取引に関する事項を調査審議した。 ・市場のあり方について関係者と随時検討した。 ・公設卸売市場の年間総取扱数量 13,498トン
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売業者の経営改善に向けた指導及び支援を実施するとともに、隣接する卸商業センターを含めた卸売市場の将来構想を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・卸売市場の今後のあり方を早期に検討する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H29完了
- H30完了予定

施策の実施方針	・農林畜産物の生産・販売の強化に関する施策の新規・拡充を検討すること
担当課 予算要求ポイント	

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに